2011／冬 #1

発行：伊勢市立伊勢図書館
伊勢市八日市場町 13-35　　℡0596-21-0077
http://iselib.city.ise.mie.jp/

２月１４日は、バレンタインデー。
逆チョコ・友チョコ・自分用・・・。いろんな言葉を聞きますが、贈り物はいいものですね。
さて、贈り物にちょっとした手紙が添えてあると、ほっこりうれしくなりませんか？
あまり書く機会はないけれど、もらうとなんだかうれしい手紙。
今回は手紙にまつわる本を紹介します。
読むと手紙を書きたくなる本や、手紙からはじまる物語、心温まる手紙のお話など。
あなたも誰かに手紙を書いてみませんか？

手紙

『空色の地図』梨屋アリエ/作　金の星社

９１３/ナ

中学3年生の初音は、最近友達のことで悩んでいる。そんな初音のもとに突然届いたのは、差出人不明の封書。中には、6年前、未来の自分に向けて書いた手紙が入っていた。

「どうして今頃？」と考えていると、昔遊んだ泣き虫の女の子、美凪のことを思い出す。手紙を送ってきた人はひょっとしたら美凪かもしれない！と思い当たった初音は会いにいくことになり・・・。

友人関係がなんとなくうまくいかない・・・。そんな気持ちになった時読んでみてはどうですか？

『作家の手紙』有栖川有栖/〔ほか〕著

角川書店　９１５６/サ

人気の作家たちが綴るさまざまな事情の手紙たち。

「人間でないことがばれて出て行く女の置き手紙」（蜂飼耳）
　――題は可笑しいけれど、せつない。

「亡き兄を送る手紙」（歌野晶午）
　――短編小説のよう。

「ある女子より。牛乳配達のお兄さんへ。」（中村航）
　――恋の手紙。

『恋文の技術』

森見登美彦/著　ポプラ社

９１３６/モ

京都の大学から遠くはなれた能登半島の実験所まで飛ばされた大学院生の守田一郎。

せっかくの機会、文通武者修行と称してゼミの仲間や先輩たちに手紙を書きまくる日々を送る。

守田一郎の出した手紙だけで構成された書簡形式の小説。

これ絶対笑えます。森見登美彦さんに宛てた手紙も必見！

『郵便屋さんの話』

カレル・チャペック/作　関沢明子/訳
藤本将/画　フェリシモ　９８９/チ

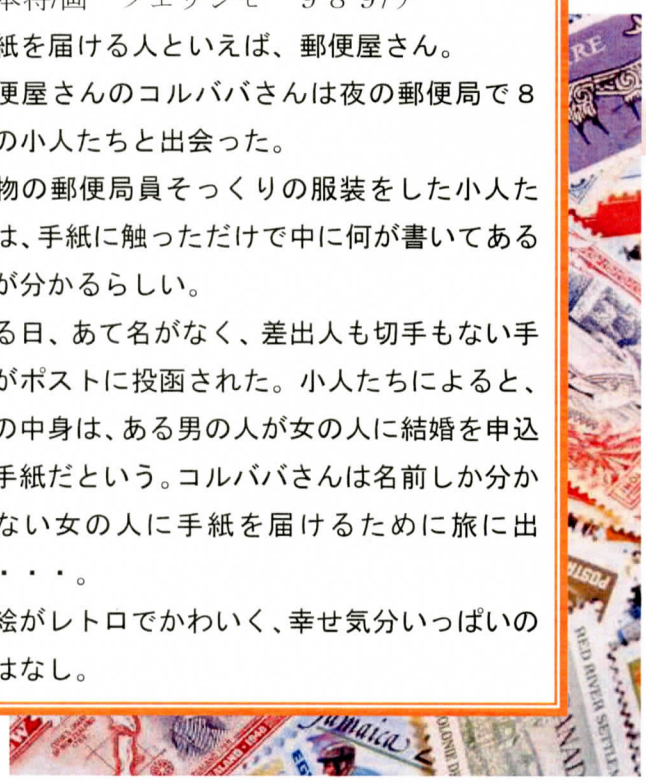
手紙を届ける人といえば、郵便屋さん。

郵便屋さんのコルババさんは夜の郵便局で８人の小人たちと出会った。

本物の郵便局員そっくりの服装をした小人たちは、手紙に触っただけで中に何が書いてあるかが分かるらしい。

ある日、あて名がなく、差出人も切手もない手紙がポストに投函された。小人たちによると、その中身は、ある男の人が女の人に結婚を申込む手紙だという。コルババさんは名前しか分からない女の人に手紙を届けるために旅に出て・・・。

挿絵がレトロでかわいく、幸せ気分いっぱいのおはなし。



『きもちが届く、手づくりてがみ。』

アスコム　７５０/キ

てがみ好きのクリエイター１６組が紹介する、アイデアたっぷりの便せん・封筒・メッセージカード。

「布つなぎ手紙」
「びりびりびんせん」
「こうかん日記レター」など。

巻末には作り方も載っています。

市販で素敵な便せんもありますが、かんたんに作れる“手づくりてがみ”挑戦してみませんか？

そのほか・・・手紙にまつわる本☆

『ブリット－マリはただいま幸せ』
　アストリッド・リンドグレーン/作　石井登志子/訳　徳間書店　949/リ

『拝啓愛しき人へ』
　マガジンハウス/編　マガジンハウス　9146/ハ

『あしながおじさん』
　ジーン・ウェブスター/作　恩地三保子/訳　偕成社　933/ウ/1

『ななつのこ』
　加納朋子/著　東京創元社　9136/カ

『はいけい女王様、弟を助けてください』
　モーリス・グライツマン/作　唐沢則幸/訳　横山ふさ子/挿絵　徳間書店　933/グ

★ほかにもティーンズの本棚には皆さんにおすすめの本がたくさんあります。どうぞのぞいていってくださいね。